

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24224	
事業名	高校改革費						
評価担当課	所属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-211-3851	
施策名	多様性が尊重された環境の下で、子どもは、自分の特性や興味に応						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	令和4年度から実施している新しい高等学校学習指導要領において、これからの社会を生きる子どもたち一人一人に「生きる力」を育成するため、「社会に開かれた教育課程」や、教育活動の質の向上につなげていく「カリキュラム・マネジメント」等が必要とされている。 また、石狩管内の中卒者数は今後も減少する見込みであり、道教委と協調し、市立高校の学校規模の適正化を図っていく必要がある。 当該事業は、こうした社会的背景を受けて令和5年に改定した高校改革方針に基づく事業をはじめとした、各市立高校の特色ある教育活動を支援するものである。					
	事業内容(何を実施し)	①高校改革方針実行プラン事業…実行プランに計画されている各学校の特色化の充実や市立高校全校共通の取組など各種事業の実施に係る経費等 ②大通高校支援事業…多様な学習ニーズを持つ大通高校の生徒を支援するため、外部人材活用に係る報償費等 ③旭丘高校におけるスーパーサイエンスハイスクールの事務補助員人件費					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	札幌市立高等学校の魅力ある学校づくりを推進する。					
	他都市の状況	19の指定都市において市立高校を設置しており、さいたま市、川崎市、名古屋市、広島市等においては、札幌市同様の高等学校の教育活動の充実を目的とした計画を策定している。					
	市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外					
令和5年度決算額	9,891 千円	うち特定財源	1,309 千円	正規職員業務量	1.5 人工		
令和6年度予算額	25,000 千円	うち特定財源	2,322 千円	正規職員業務量	1.5 人工		
令和6年度決算額	17,838 千円	うち特定財源	1,415 千円	正規職員業務量	1.5 人工		
令和7年度予算額	0 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工		
指標	アウトプット活動指標1	市立高校の入学者選抜出願倍率			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標1	市立高校の教育に満足している生徒の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
	74% 86% 80% 87% 88% 90%						
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方 入学者選抜出願倍率は高い数値を維持しており市立高校へのニーズは高いことが分かるが、在校生を対象にした教育内容の満足度調査では目標値を達成できていないため、各市立高校の教育内容を引き続き充実させていく必要がある。						
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
令和5年度実績		令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
↓							
アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	市立高校教育の在り方を示す「札幌市立高校教育改革方針」の計画最終年にあたるため、市立高校共通で取り組む事項及び各高校の特色に応じて取り組む事項を推進し、引き続きの魅力ある学校づくりに努めていく。						